

令和7年度岡山市水防訓練を実施

令和7年5月18日（日）に岡山市東区西大寺浜地内吉井川河川敷で東地区消防団員及び東消防署員120名が参加し、水防訓練を実施しました。

これからの梅雨・台風等の出水期に向け、河川の越水や漏水を想定した水防工法（2種類）を作成し、有事の際の協力体制を再確認しました。

訓練内容は、土嚢の作成から始まり、改良積土嚢工法Ⅱ（越水対策）と月の輪工法（漏水対策）を実際に作成しました。

東消防署は今年度も消防団との連携強化を図るため、様々な取り組みを進めています。



【令和7年度岡山市水防訓練の開会式の様子】

訓練概要

○日時

令和7年5月18日（日） 9：00～11：30

○会場

岡山市東区西大寺浜地内 吉井川河川敷

○水防工法

①月の輪工法

②改良積土嚢工法Ⅱ



【水防工法について説明している様子】

土嚢を作成



【土嚢を作成している様子】

猛暑の中、消防団員と消防職員が協力し、土嚢を約400袋作成しました。

土嚢1袋あたりの重さは25kg～30kg程度になります。

月の輪工法では、1基作成するのに土嚢を約120個、改良積土嚢工法Ⅱでは10m作成するのに土嚢を約180個使用しました。

月の輪工法を作成



【月の輪工法を作成している様子】

改良積土嚢工法Ⅱを作成



【改良積土嚢工法Ⅱを作成している様子】